

議事録

会議の名称	第5回別府市協働のまちづくり推進委員会
開催日時	令和5年7月28日(金) 14:00~15:50
開催場所	別府市役所 5階 大会議室
出席者	委員：後藤委員、福谷委員、中山委員、平石委員、上里委員、 入田委員、小野委員 (※清水委員、平岡委員、河原委員 欠席) 事務局：山内室長、溝部課長、首藤係長

≪会議の内容≫

■議題(1) 令和4年度協働推進事業の実施状況

別府市協働のまちづくり推進条例第10条に基づき、協働のまちづくりの推進に関する施策の令和4年度実施状況を事務局から委員会へ報告。

委員からの意見等は下記のとおり。

① 啓発活動及び人材育成の推進

- ・ボランティア活動や地域貢献への意識が醸成されるような研修を行う必要があるのではないかと。
- ・アンケート結果から、職員が地域の課題を認識しようとする意識が低いように見受けられる。
- ・ひとまもり・まちまもり協議会等の活動の現場に実際に行き、課題を解決するにはどうすればよいか考える研修ができればよい。
- ・講義の研修だけでなく、地域の代表の方とのディスカッション等を行うと、地域活動への参加の意識が醸成されるのではないかと。
- ・研修の中で、職員に地縁組織の現状を認識してもらうことも必要ではないかと。

② 市民と市の相互理解の推進

- ・ひと・まち協議会の活動を通じて、協働することにより住民が課題を解決できたという成果をクローズアップし広報していくと、実効が上がり、情報が住民に伝わりやすくなる。
- ・地域で地道に活動する人を紹介できるとよい。

③ 体制づくりと支援策の推進

- ・行事を開催する際などに、複数の団体で実行委員会を組織し、実行委員長に若い世代を抜擢することにより人材の発掘につながる。
- ・体制づくりには、活動に参画する人をいかに集められるかが重要。
- ・イベントなどを通じて活動に興味がある人の中から、人材を発掘することが効果的である。
- ・人脈が大切であり、人とつながっていないと行事やイベントも発展性がない。
- ・将来的には、地域活動の活性化のために有償ボランティアも必要になるのではないかと。
- ・ひと・まち協議会の活動の広がりへの差は、地域の特性や圏域の範囲など地域差によるものが大きいのではないかと感じる。
- ・地域ごとにテーマや重点的に取り組むことなど方向性を決めていくことが重要。

④ 環境整備

- ・市民活動支援補助金の交付を受けた団体の活動が住民に周知されていないので、広報の方法を工夫する必要がある。
- ・市内の関係部署を通じて活動に関係する団体に周知するなど、興味や関心のある人に情報が届くようにすることが必要。

⑤ 取組の評価や見直しの推進

- ・特になし

■議題（２） 人材育成について

協働を推進する上で、地域組織の基盤である自治会や、ひとまもり・まちまもり協議会など「地域団体」における人材育成について、意見交換を行った。

委員からの意見等は下記のとおり。

- ・PTA活動等を通じて地域でつながりを持っている人などに参画してもらう。
- ・民間企業は目標が明確にありそれに向かっての人材育成を行うが、地域は目標が多様であるので人材育成は難しい面がある。
- ・イベントなどを通じて関心を持って集まった人に地域活動においても役割を担ってもらい、成功体験を重ねるとよいのではないか。
- ・イベントをきっかけにして、日常生活における地域のつながりを作り、継続させることが必要だと思う。
- ・過去の経験、実績を地域活動に役立ててもらうことにより、地域貢献につながる人材を活用し、人材育成を行うこともよいかもしれない。

■議題（３） その他

- ・次回以降の日程を確認

委員会終了。